

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

シリーズ景観 48

～『みんなで残したい松江の景観400選集』から景観審議会が特にお薦めする景観～

## — No.120 美保神社 —

「本殿は大社造りの社殿が左右に2棟並んだ独特の様式で美保造りといわれ、国の重要文化財に指定されています」と推薦いただきました。

文化10(1813)年に造営された本殿の建築用材の大半は、美保関周辺に自生していた松を使い、屋根は檜皮ひわだで葺ふいています。御祭神は三穂津姫命みほつひめのみこと、事代主命ことしろぬしのみこと(えびす様)の二柱で、全国に3,300余りある「えびす社」の総本社です。美保神社の神様は鳴り物を好まれるとされ、古くから数多くの楽器が奉納されており、そのうち846点は重要有形民俗文化財に指定されています。



美保神社では、毎年4月に青柴垣神事あおふしがき、12月には諸手船神事もろたふねと、国譲り神話にちなんだ古式ゆかしい神事が行われます。さわやかな5月の海風を感じながら神話ゆかりの舞台を訪ねてみてはいかがでしょうか。

「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。  
【お問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索

